

令和5年5月27日

**第70回レンガドック活用イベント
(第25回咸臨丸フェスティバル)
実施報告書**

レンガドック活用イベント実行委員会

第70回レンガドック活用イベントは、第25回咸臨丸フェスティバルに参画し、令和5年5月27日(土)に浦賀レンガドック周辺で実施した。浦賀コミュニティ広場の中にあるレンガドック活用センターで、「ワンデーミュージアム」と、咸臨丸フェスティバルの特別企画展(浦賀商友会主催)として、浦賀船渠で造られた艦船の模型展示『ひい爺ちゃん達が造った船たち(戦前、戦中編)』を、同時開催した。

今回のイベントは、昨年のように感染拡大防止対策として事前申込制を敷かず、入場自由で行うことが可能になったため、令和2、3年の中止を含めると4年振りに本来のイベントとして開催できるようになった。

1 目的

例年、多くの来場を数える咸臨丸フェスティバルに参画することで、多くの来場者に対しレンガドックについて周知を行い、親しみを持ってもらうことで、浦賀のまちづくり機運を高めるきっかけづくりに役立てる。

2 概要

(1)実施場所

浦賀レンガドック周辺

- ・レンガドック活用センター（浦賀コミュニティ広場内）

(2)日時・天候

令和5年5月27日(土) 10:00～15:30(快晴)

(3)実施プログラム・来場者数

ワンデーミュージアム（艦船の模型展示と同時開催）

〈時間〉 10:00～15:30

〈協力〉 「ドックと浦賀の歴史を愛する会」：展示物の説明

〈来場者数〉 1,322人

工作体験（文鎮作り）

〈時間〉 10:00～13:00（盛況により材料が無くなり終了）

〈協力〉 「ドックと浦賀の歴史を愛する会」：工作体験の指導

〈参加者数〉 58人

（参考）咸臨丸フェスティバル来場者数 約8,000人

(4)スタッフ

- ・レンガドック活用イベント実行委員会事務局：まちなみ景観課
遠藤課長、古川
- ・市民ボランティア「ドックと浦賀の歴史を愛する会」6名

3 実施プログラムの概要

(1) ワンデーミュージアム

〈場所〉 レンガドック活用センター

〈時間〉 10:00～15:30

〈内容〉

- ア. 浦賀フォトクラブによるドック写真
- イ. レンガドック内の解説図・写真
- ウ. 浦賀ドック内で使用していた工具の展示
- エ. 咸臨丸パネル展示



会場の様子



咸臨丸パネル展示



浦賀フォトクラブによるドック写真



咸臨丸 内部精密解剖図 (船の科学館提供)

(2) 工作体験（文鎮作り）（協力：「ドックと浦賀の歴史を愛する会」）

〈場所〉 レンガドック活用センター

〈時間〉 10:00～13:00（盛況により材料が無くなり終了）

〈内容〉

「ドックと浦賀の歴史を愛する会」により、造船技術を活用した文鎮作りの工作体験を実施した。



会場の様子



開催前準備の様子



工作体験の様子



完成した文鎮

(3) 同時開催(咸臨丸フェスティバルの特別企画) 艦船の模型展示(主催:「浦賀商友会」)

〈場所〉 レンガドック活用センター

〈時間〉 10:00~15:30

〈内容〉

咸臨丸フェスティバルの特別企画展(浦賀商友会主催)として、浦賀船渠で造られた艦船の模型展示『ひい爺ちゃん達が造った船たち(戦前、戦中編)』を、実施した。

模型は一番大きい(1/200)サイズの第六青函丸から、一番小さい(1/700)サイズの駆逐艦、海防艦、掃海艇など合計73隻が展示された。特別企画のチラシを浦賀商友会と各町内会に配布し、前日にタウンニュースに掲載されたことから、艦船マニアの方々が数多く来場して、終了時間の15:30まで人が減ることが無かった。



会場の様子



入口前看板



一番大きい(1/200)サイズの第六青函丸



一番小さい(1/700)サイズの駆逐艦など

4 事前準備

(1) イベントの周知方法

- ア. 広報よこすか5月号(咸臨丸フェスティバルのイベント掲載枠)
- イ. 市公式 Twitter(ワンデーミュージアムを掲載)
- ウ. 咸臨丸フェスティバルのパンフレット(咸臨丸フェスティバル実行委員会作成)掲出

(2) 関係団体との調整

咸臨丸フェスティバル実行委員会(事務局：浦賀行政センター)

- 第1回 咸臨丸フェスティバル実行委員会(2月28日)
- 第2回 咸臨丸フェスティバル実行委員会(4月11日)

5 総評

令和元年以来4年ぶりに咸臨丸フェスティバルが、新型コロナウイルス感染症対策が無い、状態で開催できたため、咸臨丸フェスティバル来場者数全体も約8,000人と昨年の1.6倍となった。

工作体験の文鎮作りは、オープンの10時から希望者が絶えず、13時時点で材料が無くなり、同時開催となった、艦船の模型展示との相乗効果もあって、最終的には予想の500名を超える来場者数1,322名と大盛況のイベントとなった。

以上